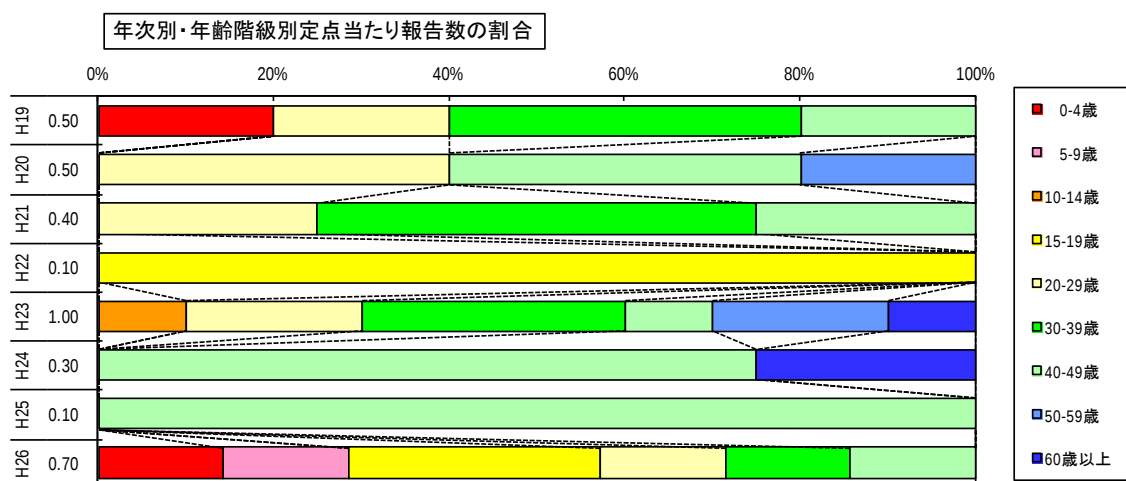
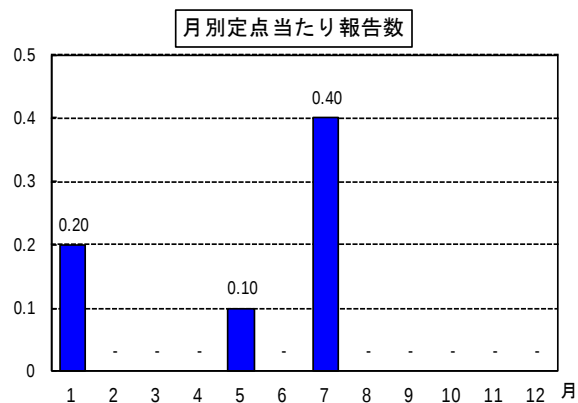
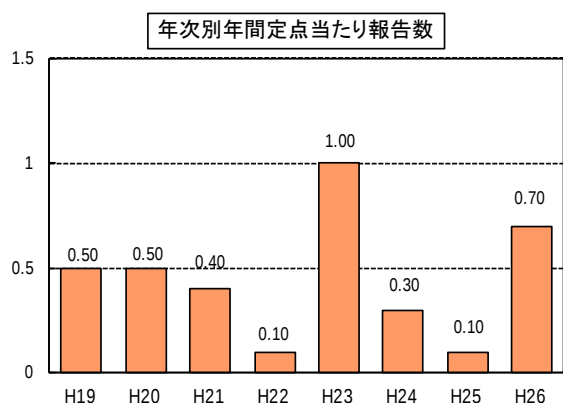
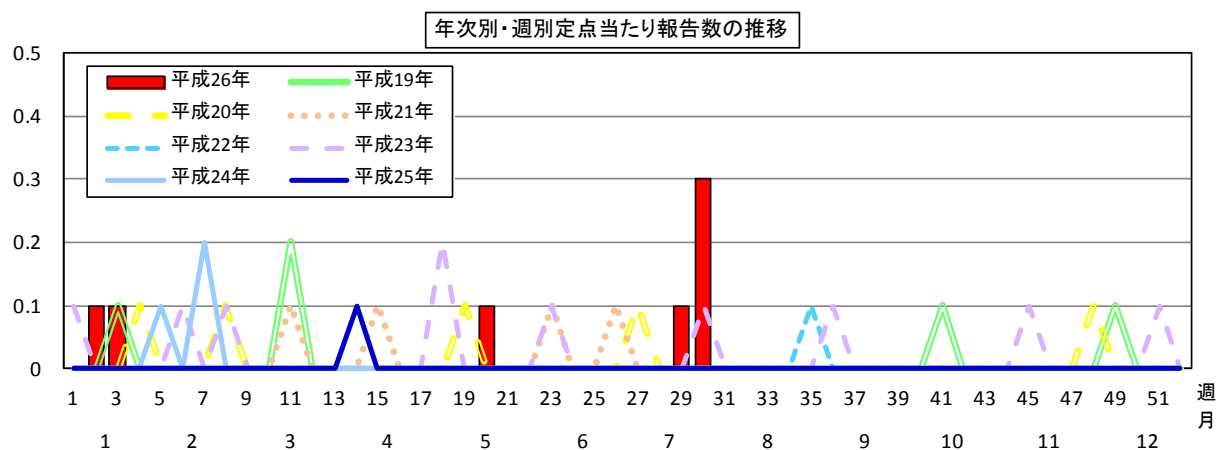


ウ 眼科定点

(ア) 急性出血性結膜炎

平成26年は年間報告数7例、年間定点当たり報告数0.70、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.84、前年比7.00であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数と比べると、最も多かった平成23年に次いで多かった。



(イ) 流行性角結膜炎

平成26年は年間報告数375例、年間定点当たり報告数37.50、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.33、前年比1.11であった。

過去7年間の年間定点当たり報告数と比べると、最も多かった。

月別定点当たり報告数では、1月(5.60)、6月(5.20)、7月(5.10)、8月(5.00)が多かった。

年齢階級別では、30～39歳(31.5%)が最も多く、次いで20～29歳(14.4%)、40～49歳(7.7%)の順であった。

